五―一三二
医療技術短期大学設立に関する要望

一九七二年十二月二十一日
医学部「教授会議事録　昭和四十七年」

第20回教授会議事録

1. 日時　12月21日（木）午後3時45分～5時20分

［中略］

1. 三浦病院長から、別紙医療技術短期大学設立に関する要望について説明があり、了承された。

［後略］

［別紙］

医療技術短期大学設立に関する要望

近年の医療の発展とその分化に伴ない、看護婦、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術者に対し、総合保健医療を担うものとして益々専門職としての内容が要請されるにいたり、また教育面においては、各学校の指定規則の改正により教育内容の高度化がなされ、これら医療技術者の教育年限は高等学校卒業後3年以上に統一されるにいたった。

しかし、各種学校という制約の中では、高度化された教育内容を完全に実施することが不可能であることが既に明らかであり、更に新らしい医療を担うに適した医療人を養成するためには、従来の教育からの質的転換が求められている。

これらの点の解決は、短期大学以上の学校制度の中に求める以外にないことは周知の事実である。

以上の点に立脚し、北海道大学医学部附属3学校（看護学校、診療放射線技師学校、臨床検査技師学校）間の協議の結果、本学校における医療技術者教育の制度を各種学校から短期大学へと移行させるべきであるという点において意見の一致をみた。

よって、医療技術短期大学設立への準備と、それの実現を強く要望する。

昭和47年5月　日

看護学校長　杉浦清治
診療放射線技師学校長　入江五朗
臨床検査技師学校長　白石忠雄
医学部附属3学校教官会議

［注記］原文横書き。

五―一三三
ポートランド州立大学（アメリカ）と姉妹大学の提携を結ぶ

一九七三年一月
『北大時報』第二六号

▼ポートランド州立大学（アメリカ）と姉妹大学の提携を結ぶ

昭和四十七年十二月十九日、札幌市役所で、本学とポートランド州立大学との姉妹大学提携の盟約書への署名が行なわれた。

これは、札幌市とポートランド市との姉妹都市提携に基づく姉妹団体としての提携で、さきに、ポートランド州立大学長から提案があり、昭和四十七年十一月十五日開催の評議会で了承され、このたびの署名の運びとなったものである。

両大学がこのような関係を結ぶに至った背景には、昭和四十二年にポートランド州立大学の教授が、同大学のサマースクールの一環として、同大学の経済学、経営学専攻の学生三十人を引率して来学したのがきっかけとなり、昭和四十四年に二十人、昭和四十六年に二十六人の学生が来学し、本学経済学部からは、昭和四十四年に十八人、昭和四十六年に二十人の学生が渡米し、同大学のセミナーに参加しており、また、昨年九月には、学生国際交流制度による派遣留学生として経済学部の学生三人が同大学に留学しているという学生の交流がある。今回の姉妹大学提携により、今後一そう交流が進むことが期待される。

（庶務課）

参考（姉妹提携盟約書）

RESOLUTION

WHEREAS, Portland, the "City of Roses", U.S.A., and Sapporo, "City of Lilies of the Valley", Hokkaido, Japan, did on November 17, 1959 become affiliated under the Town Affiliation Program of Sister Cities and

WHEREAS, it is desirable to have many individuals and organizations enter into sister affiliations for the exchange of culture, friendship, etc., and

